

## CONTENTS

- 1 「多文化共生」の強みを生かす国際理解事業・国際理解プログラム
- 2 事業報告
- 3 JICA三重県デスクからのお知らせ
- 4 MIEFからのお知らせ

## 「多文化共生」の強みを生かす国際理解事業 国際理解プログラム

MIEFでは、三重県から「多文化共生」の強みを生かす国際理解事業を受託し、県内の小中学校と特別支援学校を対象に国際理解プログラムを実施しています。

外国人住民との交流を通じて異なる文化を認め、理解し合う機会にしたいと考えています。

また三重県の外国人住民数は、43,445人（平成28年末現在）と県人口の2.36%を占め、外国人比率は全国的にも上位となっています。県内在住の外国人住民には永住者や定住者も多く、地域の担い手としての活躍も期待されています。

今年度は、合計15校の小中学校と特別支援学校でプログラムを実施しており、1校について同じ講師が2回授業を行うこととしています。それにより、講師への親しみと、講師の出身国についてより深く理解していただくことを目的としています。また、2回目のプログラムでは講師が来日して困ったこと等についても話をし、多文化共生のために大切なことや身近にできることを児童生徒が考える内容にしています。

講師の出身国は27、28年度のプログラムで実施したサミット参加国に加え、新たに、県内在住外国人人数が多い国の1つであるフィリピン出身の講師が加わりました。フィリピンにつながる児童が在籍する学校を主として、フィリピンのプログラムへの申し込みも多くいただいています。



▲津市立雲出小学校での授業の様子

津市立雲出小学校では、3年生の29人を対象に、「フィリピンの文化や習慣を知ろう！」というテーマでプログラムを行いました。1回目のプログラムでは講師が、フィリピンの食べ物や動物、乗り物などについてたくさんの写真を交えて話をしました。後半には、「フィリピンの小学校について〇×クイズ！」を行い、活発なやりとりがなされました。フィリピンの学校では給食がなく、カフェテリアで食べるという話題では、児童は驚くとともに、興味を持って講師の話を聞いていました。

2回目のプログラムでは、講師が来日して体験した面白いこと、困ったことについて話をしました。また、「もしあなたがフィリピンに行ったら…体験ゲーム！」を行い、皆で言葉が理解できない体験をしました。



フィリピン語で書かれたトイレの標識  
あなたはどちらに入りますか？

※答えは4ページ下をご覧ください

フィリピンに行ったら言葉が理解できないこと、言葉が理解できないと自分の行きたい方向へ行けなかったり、食べたいものを買うことができなかったりすることを皆で体験し、在住外国人で日本語が十分理解できない方の気持ちを考える機会になりました。

今後も本プログラムを通じて、地域の外国人住民を身近に感じ、多文化共生を考えるきっかけにいただければ嬉しいです。

### <授業を受けた生徒さんの感想>

「先生の話が面白かった。フィリピンのジップニー（乗り物）に乗ってみたいと思った。」「外国の子がクラスに来たら、道が分からないとき、教えてあげようと思った。」

## 災害時外国人住民支援事業 (三重県委託事業)

● 外国人住民を主な対象とした防災セミナー in 志摩市  
7月5日(水)に三重県と志摩市との共催で「外国人住民防災セミナー」を実施しました。志摩市国際交流協会やスペイン村を始めとする外国人住民が勤めている企業の協力を得て、当日は11か国53人の方が参加されました。

セミナー内容は2部構成で、まず志摩市では特に台風と地震に注意が必要なことと災害への備えについて講義で学び、次に段ボール間仕切り作り、簡易トイレ作りおよび非常食の準備、配布をし「避難所生活体験」をする実習を行いました。

外国人参加者のほとんどは、防災セミナーに参加するのは初めてで、「母国では地震は多くないので、地震に対する理解が浅かった」などの意見が寄せられた一方、「避難所の位置を教えてください」、「災害時に避難する訓練をしたい」など今後も災害、防災について学びたいという意欲的な意見も多く出ていました。今後も外国人の皆さんが地域の防災について学ぶ機会が増えれば良いと思います。



▲災害と防災についての講義の様子(木曽岬町)

● 外国人住民を主な対象とした防災セミナー in 木曽岬町  
10月1日(日)に三重県と木曽岬町との共催で「外国人住民防災セミナー」を実施し、6か国33人の方が参加されました。

初めに、木曽岬町で起こるかもしれない災害と防災について学び、続いて、簡易トイレ作り・非常食の準備・ロープの結び方と新聞紙のスリッパ作りを行いました。非常食の準備では、市販の非常食の原材料に、食べてはいけない、人によっては触ってもいけない食品が含まれていることなど、実際の避難所でも確認が必要な事項について、参加者や通訳者から指摘がありました。

参加者からは「地震の揺れを体験したことのない外国人は『想像がつかない』』と言っていたので、地震体験車に乗る機会があるとよい」などの声が聞かれました。避難経路やペットのことについて知りたいとの意見もあり、今後も防災についての情報や地域の避難場所について知る機会が必要と感じました。

## 「よっかいち日本語レベルチェックシート」説明会(四日市市委託事業)

四日市市では、在住外国人の日本語学習支援の一つとして、「よっかいち日本語レベルチェックシート」



を作成しました。▲説明会では楽しくペアワークをしました  
これは、日本語学習能力に加え、四日市で生活する上で知っておいてほしいこと、できるようになってほしいことを、学習者が今、どのくらい知っている・できているのかを確認し、この結果をもとに、これから何を学ばばよいか、あるいは日本語ボランティアは何を教えればよいかを、外国人と日本人が互いに考えることができるツールです。

MIEFでは四日市市から委託を受け、9月30日(土)にこのレベルチェックシートの説明会を開催しました。今年度は主に四日市国際交流センター(以下、YIC)の日本語ボランティアを対象に実施し、10人が参加されました。四日市市多文化共生モデル地区担当コーディネーターの喜屋武勇さん、早野実花さんからレベルチェックシートの目的や構成、使い方について詳しく解説していただきました。そして10月1日(日)にはYICの日本語教室に通う外国人学習者を対象に実際にレベルチェックシートを使ってもらい、喜屋武さんと早野さんから使用上のアドバイスをいただきました。

参加者からは、「レベルチェックシートを今後の活動に活かしたい」という声が多く聞かれ、体験した学習者からも「とても面白く、特に社会知識についての問題が役に立つ」という感想をいただくことができました。

四日市市内の日本語教室において、広く活用していただけるようになればと思います。

## カレンダー

都合により変更になることがあります。詳細はMIEFのHP等でご確認ください。

### 11月

11日(土)～16日(木) 韓国養生高校・昴学園高校訪問

### 12月

9日(土) 外国人住民を対象とした防災説明会

(伊勢市)

10日(日) 多文化共生理解イベント Hand in Hand 2017 妄想世界旅行～南米編～(アスト津)

### 1月

15日(月) 外国につながる子どもたちを見守るための連携研修会 (アスト津)

27日(土) 災害時外国人サポーター研修(志摩市役所)

### 2月

17日(土) 外国人住民消費者被害防止セミナー

(松阪市子ども支援研修センター)

18日(日) 災害時における多言語情報提供に特化した図上訓練 (アスト津)

## JICA 三重県デスクからのお知らせ ～世界へ羽ばたくJICA ボランティア～

みなさん、こんにちは。JICA 三重県デスクの山崎です。  
今回は2017年9月末から10月に三重県から世界へ羽ばたいた  
6人のJICA ボランティア隊員にインタビューを行いました。  
それぞれの国に旅立つ前の熱い思いを語っていただきました。



※写真左から八木正爾さん、広中 歩さん、鈴木智久さん、  
渡部聡子さん、後藤和真さん、森田悠斗さん

### 【インタビュー内容】

- ① 現地ではどのような活動をしますか？
- ② 2年間の派遣にあたっての抱負！
- ③ 2年後、私はこうなっていたい！

**森田 悠斗** (もりた ゆうと) さん【津市出身・青年海外協力隊】職種：体育 派遣国：ザンビア

- ① 小・中学生の年代を対象に、体育の授業を行い、現地の教員と共に授業改善を行います。
- ② 現地ですごく感じられない事や、経験に出会えるように、積極的に行動していきます。
- ③ 2年後のことは考えずに、今日、明日を一生懸命に生きていきます。

**後藤 和真** (ごとう かずま) さん【四日市市出身・青年海外協力隊】職種：マーケティング 派遣国：東ティモール

- ① ソーシャルビジネスプランの策定や、市場の調査、開拓、持続可能な産業の開発を行います。
- ② 死ぬこと以外、かすり傷！ ただ、2年後、必ず帰って来ます！
- ③ 国と国をつなぐ架け橋のような人間！

**渡部 聡子** (わたべ さとこ) さん【四日市市出身・青年海外協力隊】職種：看護師 派遣国：ホンジュラス

- ① 人口1万人弱の市の保健所で、現地の人たちの健康増進・改善に対しての活動を行います。
- ② 自分の健康と安全を第一に、地域の人たちと共働してきたいと思います。
- ③ 日本に住んでいるスペイン語を話す人の健康改善、増進に対して、何かできたらいいなと思っています。

**鈴木 智久** (すずき ともひさ) さん【四日市市出身・シニア海外ボランティア】職種：PCインストラクター 派遣国：ケニア

- ① 保護観察局管下の職業訓練施設（PCコース）で使用されるシラバス・カリキュラムの策定・実施。
- ② 凡庸性のあるシラバスを作り、実施し、定着させることです。
- ③ 安全に帰国します。

**広中 歩** (ひろなか あゆむ) さん【鈴鹿市出身・青年海外協力隊】職種：環境教育 派遣国：キルギス

- ① 現地の学校を巡回し、自然の大切さ、ごみの分別の大事さ、リサイクルの有効性等を伝えてきたいです。
- ② 現地の人々の気持ちに寄り添い、現地に根付く教育を目指し活動していきたいと考えています。
- ③ 環境への意識、またグローバルな視点をもつ教育者として、日本の環境教育の一線で活動していきたいです。

**八木 正爾** (やぎ しょうじ) さん【名張市出身・シニア海外ボランティア】職種：柔道 派遣国：タンザニア

- ① 刑務所課内特殊タスクフォースユニットで柔道の指導、護身術を教え、ナショナルチームの柔道指導を行います。
- ② 柔道と少林寺拳法を指導する中で、武道に興味、関心を持ち、日本の武道、日本好きの人達を増やしていきたいです。2020年の東京オリンピックにタンザニアで指導した選手が出場できるようにがんばって指導します。
- ③ タンザニアでの経験を活かし、次は南米などのスペイン語圏で柔道の指導をしたいと思います。アンチエイジング（抗老化）で年齢が若返っていることでしょう。

### 【JICA ボランティアについてのお問合わせ】

(公財) 三重県国際交流財団内 JICA 三重県デスク (TEL: 059-223-8003)



## ようこそMIEFの輪へ

皆様の温かいご支援ありがとうございます。

(平成29年6月1日～9月30日ご入金分。順不同・敬称略)

**団体会員:** 東海研修センター、日本労働組合総連合会、三重県連合会、青年海外協力隊三重県OB会、伊勢市国際交流協会、一般社団法人三重県薬剤師会、有限会社チカザワジム、三重県職員労働組合、三重県武術太極拳連盟、特定非営利活動法人三重県日本中国友好協会、松阪国際交流協会、三重弁護士会、日中友好促進三重県民会議、四日市ロータリークラブ、津市国際交流協会、三重県商工会議所連合会、株式会社伊勢出版、公益社団法人三重県医師会、国際ソロプチミスト三重、三重県行政書士会、三重県協力隊を育てる会、有限会社フィルネット、三重県日韓親善協会、学校法人鈴鹿享栄学園、協同組合亜細亜の橋、公益社団法人三重県歯科医師会、ホームステイ・イン津実行委員会、国際技術支援協同組合、社会福祉法人ベテスタ、三重県中小企業団体中央会、セントヨゼフ女子学園高等学校中学校、文化印刷有限会社、学校法人高田学苑、学校法人鈴鹿医療科学大学、志摩市国際交流協会、公益財団法人国際交通安全学会 I A T S S フォーラム、東海印刷株式会社、千巻印刷産業株式会社、権利擁護ネットライフサポート、株式会社恵心、国立大学法人三重大学、学校法人享栄学園

**個人会員:** 小塚俊郎、北村文明、田中克巳、野口幸彦、田中綾子、田村義孝、小川悟、舟橋裕幸、浅井眞八、金森正、牧田拓巳、稲垣正文、松井裕美、上田富和、野原誠、石川博子、山根一枝、井山郁子、大野次郎、岡本宗男、辻眞由美、ザリーナ、坂倉秀之、渥美利弘、松岡大和、川岸光男、三宅春子、飯田一生、北岡寛之、服部誠子、宇歆、佐々木玲子、米田あかね、前川裕介、柏木潤一郎、鏡康男、大野鉄平、上村秀作、中山治、中川勝博、中津幹、永田正巳、金丸良樹、今村智美、関根紀子、庄野あい子、中森昌昭、真伏利典、平野睦子、安田正、土佐佳子、山口和夫、玉川秀樹、川嶋裕子、米田智彦、本岡美保子、土橋伸好、柳澤久美子、亀井利克、岡田知恵、永戸千草、村林真哉、加納光、薦田正男、岩本隆志、長谷マルシア、小倉康彦

**パートナー会員:** 高野谷久、岡村健児、唐文軒、粟谷宏治、太田道夫、高松由、西崎ますみ、エバート幸子、宮田愛理、高木加菜子、小林ひろみ、菅野孝、鈴木マリアイネ恵美子、江尻千秋、吉村真理子、黒崎龍一、佐々木真紀、坂部有香、坂部安秀、ドゥティビューエンガー、舘節子、青山恵美、雙田レオネリアラミス、王文齡、川瀬照代、王平、塩月晶子、小西司、トシエヒガモリネ、稲熊文代、上原ジョアン、伊藤麻美子

## 元奨学生の集いを開催しました

8月13日(日)、これまでに三重県私費海外留学生奨学金を受給した元奨学生を対象に、「元奨学生の集い」を実施しました。

当日は16人の元奨学生にお集まりいただき、体験談の発表や、三重県への貢献を考える意見交換などを行うと共に、普段なかなか会えない元奨学生同士が交流する機会としました。

### 参加者からの感想:

「このような機会をいただきまして、ありがとうございました。とても楽しかったです。」

「思いがけず、様々な分野でご活躍の方々とお目に掛かることができ、あっという間の時間でした。また、地元のために何かできることがあればよいと、みんなが思っていることを知りました。」

またお会いできる日を  
楽しみにしております!



▲元奨学生の集いでの記念撮影

## 通訳翻訳パートナー制度について

現在、通訳翻訳パートナー制度の見直しを行っています。詳細が決まり次第、ご案内する予定です。

## 新しい事務局長の紹介



6月22日(木)、新しい事務局長が着任しました。北村文明(きたむら ふみあき)です。どうぞよろしくをお願いします。

## インターン生紹介



▲寺内拓充さん

8月21日(月)から9月1日(金)までの期間に、関西外国語大学の3年生を1人受け入れました。

MIEFのホームページに、インターン生の紹介記事を掲載しています。ぜひご覧ください。

**開館案内** 開館: 月～金 9:00～17:00 / 閉館: 土・日・祝日・年末年始

**対応言語** ポルトガル語・スペイン語・英語・フィリピン語

発行 (公財)三重県国際交流財団(MIEF)

〒514-0009 三重県津市羽所町700番地 アスト津3階 TEL 059-223-5006 FAX 059-223-5007  
ホームページアドレス: <http://www.mief.or.jp> Eメールアドレス: [mief@mief.or.jp](mailto:mief@mief.or.jp)

Facebook:公益財団法人三重県国際交流財団(MIEF) Twitter:@MIEFsince1991

